

平成 24 年 度 (2012)

慶 應 義 塾 大 学 入 学 試 験 問 題

商 学 部

地 理

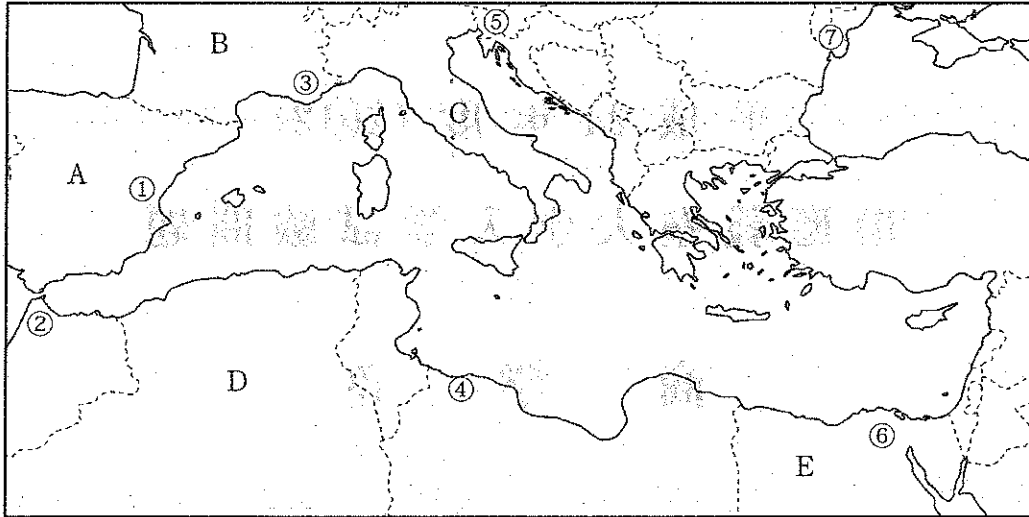
- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A（マークシート）と解答用紙 B のそれぞれ
所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A（マークシート）の受
験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。
解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A（マークシート）への記入に先立って、用紙上に記載された注
意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A（マークシート）の解答欄にマークするときには、すべて HB
の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。
- (解答例) と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右
に示すように解答欄 の ③ にマークすること。
なお、2 桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。
例えば、空欄 の解答が 3 6 の場合、解答欄
 の ③ にマークし、解答欄 の ⑥ にマークする。
5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
 6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認し
てください。ページが抜けていたり重複するページがあつた
ら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の略地図と文章に関して、後の設問に答えなさい。



地中海はアジア・アフリカ・ヨーロッパの各大陸に囲まれた海である。西は (3) (4) 海峡から大西洋に、東は (5) (6) 運河を通して紅海へと通じる。また、エーゲ海側から (7) (8) 海峡を通ったマルマラ海までは地中海に入れることもあるが、さらに (9) (10) 海峡を通った先の黒海は地中海には含まれない。これらの海路は交通の要衝であり、かつて多くの勢力抗争の舞台となった。東方では (9) (10) 海峡兩岸、かつて東ローマ帝国の首都がおかれた (11) (12) は1453年にオスマン帝国に滅ぼされ、(13) (14) と改称された。西方では、18世紀以降イギリス領となった (15) (16) はスペインが領有権を主張しているが返還されてはおらず、一方、対岸のアフリカ大陸にはスペイン領の (17) (18) があるという複雑な状態が続いている。1869年に開通した (5) (6) 運河は長い間イギリスによって支配されていたが、1956年に (19) (20) がこれを国有化すると、奪還を目指してイギリス・フランス・イスラエルが軍隊を送り、第二次中東戦争が起こった。

一般に乾燥した気候を特色とするこの地域には、中央アジア原産の小麦が伝わって以来、これを主食とする文化が多い。砂漠地域であっても、かつてナイル川①流域では、その氾濫を利用して小麦を栽培し、古代文明が発展した。また、北アフリカでは (21) (22) と呼ばれる地下用水路を用いた農業もおこなわれている。しかし現在、北アフリカ諸国は世界的な小麦の輸入国である。また、ヨーロッパ大陸の諸国も小麦を多く輸入しており、おもに内陸部で生産した小麦を大量に輸出している (23) (24) を除くと、地中海地域の小麦の自給率は高いとは言えない。

ただし、ヨーロッパ農業の全体におけるこの地域の歴史的な重要性は否定できない。現在、ヨーロッパ中部においては一般的に (25) (26) が、また山岳地域では (27) (28) が、都市周辺部では (29) (30) が営まれているが、これらの商業的農業の原型は中世期の三圃式農業だと考えられている。そして、この三圃式農業も、さらに遡れば地中海世界の二圃式農業②をローマ人が持ち込み、改良して生まれたものである。ただし、地中海地域における小麦栽培は、(31) (32) に種をまく (33) (34) 山脈以北と異なり、(35) (36) 以降に種をまく。二圃式農業は、夏の乾燥に耐えうる樹木作物と組み合わせられ、かつて地中海北岸地域および (37) (38) 山脈北側斜面で広く行われた。このような地中海地域の多角的農業経営も、(39) (40) 技術の発達に伴ってこの気候帯特有の制限を乗り越え、商業化と専門化を進めたが、現在でもギリシャやイタリア半島南部にその伝統的な姿を留めている。

問1 略地図中①～⑦から、本初子午線にもっとも近い都市を選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 にマークしなさい。

問2 略地図中①～⑦から、京都の緯度にもっとも近い都市を選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 にマークしなさい。

問3 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 ～ にそれぞれマークしなさい。なお、同じ語句を2回以上使っても構いません。

《語群》

- | | | | | |
|----------------|-----------|-------------|------------|------------|
| 11 秋 | 12 アトラス | 13 アペニン | 14 アルプス | 15 イスタンブール |
| 16 イタリア | 17 ウラル | 18 エジプト | 19 園芸農業 | 20 カナート |
| 21 カフカス | 22 カルパティア | 23 灌漑 | 24 企業的穀物農業 | |
| 25 ギリシャ | 26 グラナダ | 27 耕作 | 28 混合農業 | |
| 29 コンスタンティノポリス | | 30 サン＝マルタン | 31 ジブラルタル | 32 スエズ |
| 33 スペイン | 34 セウタ | 35 施肥 | 36 促成栽培 | 37 ダーダネルス |
| 38 チュニス | 39 ドーヴァー | 40 トリポリ | 41 夏 | 42 パナマ |
| 43 春 | 44 パルセロナ | 45 ピレネー | 46 フォガラ | 47 フランス |
| 48 ポスポラス | 49 冬 | 50 プランテーション | | 51 放牧 |
| 52 マラッカ | 53 ミディ | 54 メッシナ | 55 遊牧有機農業 | 56 酪農 |

問4 下線部ナイル川①のような河川を外来河川と言う。この用語の一般的な定義を解答用紙Bの所定の解答欄に15文字以内で記入しなさい。

問5 下線部二圃式農業②に関して、似た用語に二毛作というものがある。この2つの用語について、それぞれの目的を示しつつ、解答用紙Bの所定の解答欄に各40文字以内で説明しなさい。

問6 下記の表は2007年の電力発電量（単位：100万kWh）と発電方式別の電力発電量の割合（単位：%）である。記号ア～オには略地図中A～Eの国のいずれかが入る。それぞれの国名を解答用紙Bの所定の解答欄に記入しなさい。

国	電力発電量	火力	水力	原子力
ア	128,129	87	12	0
イ	569,840	11	11	77
ウ	37,196	99	0.6	0
エ	303,292	62	10	18
オ	313,888	85	12	0

II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

ブラジル、ロシア、インド、中国を指す BRICs という言葉が生み出されて、約10年が経過した。これら4カ国は広大な面積と豊富な人口を有し、経済発展が著しいことから、重要な経済市場になると予想されて BRICs と総称された。しかし、地理的・文化的には多様で、各国の成長も一様ではなく、日本との間の貿易活動にも大きな違いがある。

ブラジルは国土のほとんどが熱帯に属し、土壌は (41) (42) が広がるが、ブラジル高原南部の温帯地帯は (43) (44) の肥沃な土壌である。国民の3分の2以上は (45) (46) を信仰している。日本のブラジルからの輸入は、近年では鉄鉱石の占める割合が最も大きい。ブラジル国内の主要な鉄鉱山には、(47) (48) やカラジャスがある。約100年前に日本からブラジルへの移民が始まったが、現在では人の流れが逆転し、多くの日系ブラジル人が日本で働いている①。

ロシアは国土の大部分が亜寒帯(冷帯)気候である。国土の西南には (49) (50) 地帯が広がり、小麦の栽培が盛んである。現在、日本のロシアからの輸入はほとんどが天然資源であり、日本企業も天然資源を求めてロシアに進出している。日本の近隣で進められている地下資源開発の多国間プロジェクトとしては、(51) (52) の石油・天然ガスプロジェクトがある。日本のロシアへの輸出で圧倒的に多いのは (53) (54) である。

インドでは国民の大多数が (55) (56) を信仰している。インドとの貿易では、日本はインドから主に石油製品や地下資源、農水産製品を輸入し、インドには主に機械の部品や完成品を輸出するというように、(57) (58) の色彩が強い。インドは1980年代頃から経済の自由化を進め、近年はソフトウェアを中心とする IT 産業も著しく発展している②。

中国の経済発展は目覚ましいが、地域間の所得格差も拡大している。中国政府はこの格差を縮めるために、2000年代には (59) (60) という大規模地域開発プロジェクトを推進している。中国と日本との貿易は1990年代以降急増し、日本の貿易相手国のうち輸出額と輸入額の合計が最も多い国は、約5年前に (61) (62) から中国に代わった。現在、日中間では機械の部品や完成品を相互に取引するという形で水平的分業が進展している③。

市場としての重要度から判断すれば、ブラジル、インド、中国と一緒にグループに入るのは、ロシアよりもインドネシアの方が適切かもしれない。インドネシアの国土はほとんどが (63) (64) 気候で、国民の大多数は (65) (66) を信仰している。日本とインドネシアとの貿易では、近年は日本が自動車、トラック、重機を多く輸出し、石油・天然ガスや銅鉱を多く輸入していた。ロシアの代わりにインドネシアが入ったら、BRICs からどのような略称に代わるのだろうか。また、BRICs という言葉は、10年後も広く使われ続けるのだろうか。

問1 文中の空欄 (41) (42) ～ (65) (66) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (41) ～ (66) にそれぞれマークしなさい。なお、同じ語句を2回以上使っても構いません。

《語群》

11 アメリカ合衆国	12 イスラム教	13 イタビラ	14 一般機械
15 ウラジオストク沖	16 温暖湿潤	17 改革開放政策	18 カトリック
19 カムチャツカ半島	20 韓国	21 キルナ	22 栗色土
23 黒土	24 サバナ	25 サハリン沖	26 垂直貿易
27 水平貿易	28 西部開拓	29 西部大開発	30 台湾
31 テラローシャ	32 テラロッサ	33 電気機械	34 熱帯雨林
35 ヒンドゥー教	36 フェアトレード	37 仏教	38 プロテスタント
39 ポドゾル	40 緑の革命	41 メサビ	42 輸送機械
43 ラトゾル	44 レグール	45 レス	46 ロレーヌ

問2 ブラジル、ロシア、インド、中国、インドネシアの5カ国について、以下の選択肢のうち、人口の多い順に並んでいるものの番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (67) にマークしなさい。同様に、面積の広い順に並んでいる選択肢の番号を解答欄 (68) に、日本における登録外国人数の多い順に並んでいる選択肢の番号を解答欄 (69) に、各国の首都と東京の間の大圏距離が短い順に並んでいる選択肢の番号を解答欄 (70) に、それぞれマークしなさい。なお、これらの順位は2006年から2010年の間で変動はない。また、中国については、人口と面積では台湾、香港、マカオを除き、首都は北京とする。

《選択肢》

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 中国、インド、インドネシア、ブラジル、ロシア | 2 中国、インド、ブラジル、インドネシア、ロシア |
| 3 中国、インド、ブラジル、ロシア、インドネシア | 4 中国、インドネシア、インド、ロシア、ブラジル |
| 5 中国、インドネシア、インド、ブラジル、ロシア | 6 中国、ロシア、インド、ブラジル、インドネシア |
| 7 中国、ブラジル、インドネシア、インド、ロシア | 8 ロシア、中国、インド、ブラジル、インドネシア |
| 9 ロシア、中国、ブラジル、インド、インドネシア | |

問3 下線部①に関連して、日本に働きに来た日系ブラジル人は、群馬県では伊勢崎市や太田市、静岡県では浜松市や磐田市、愛知県では豊橋市や豊田市などに集住している。このことから判断し、日系ブラジル人労働者が日本で主に従事している産業を、解答用紙Bの所定の解答欄に記入しなさい。

問4 下線部②に関連して、インドでIT産業が発展した理由のうち、インドの地理的位置に関するものを、40字以内で解答用紙Bの所定の解答欄に記入しなさい。

問5 下線部③に関連して、このような日中間の水平的分業の進展に、中国の経済特区や経済技術開発区はどのような役割を果たしたと考えられるか。40字以内で、解答用紙Bの所定の解答欄に記入しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

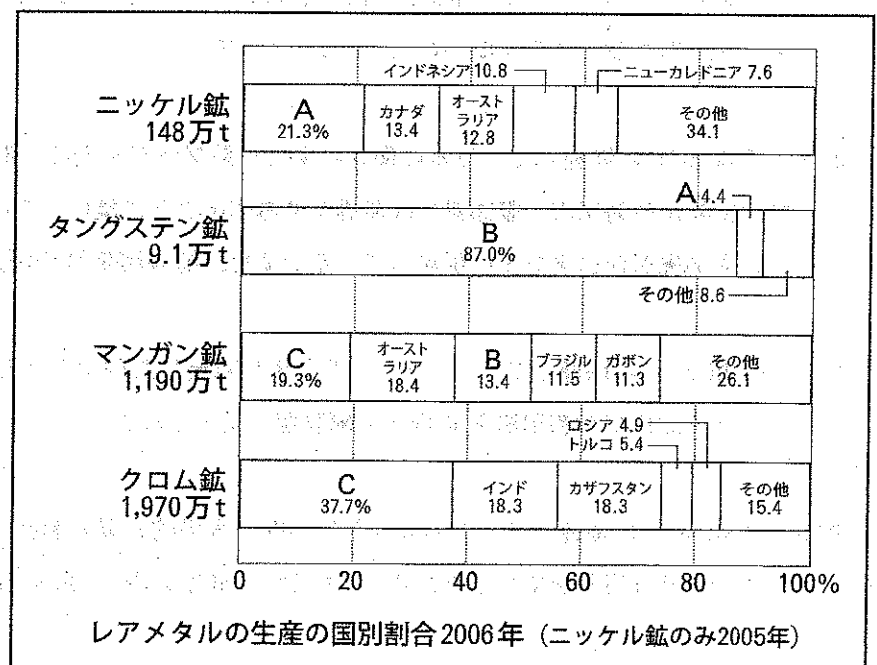
資源には、光・熱・動力などの源になるエネルギー資源と、各種工業の素材となる原料資源とがある。エネルギー資源のうち、一次エネルギー①の大半は石炭、石油、天然ガスなどの再生不可能な(71) (72)に依存している。地球温暖化などの気候変動が懸念されている中、天然ガス②が注目されている。天然ガスを液化したものを(73) (74)と呼び、液化によって体積が1/600になり大量輸送が可能となることにより需要が拡大してきた。

原料資源の中でも鉄鉱は、さまざまな工業の基礎的な素材となる鉄鋼の原料である。生産地は広く、地球上に分布しているが、ブラジル、中国、(75) (76)の3国での産出が多く、世界の産出量の過半を占めている。鉄鉱の開発や採掘に当たって、主要な鉄鋼生産国が、資本投下して鉄鉱の開発や採掘を支援し、長期契約で輸入する(77) (78)の傾向が強まっている。非鉄金属も工業発展にとって重要なものが多く注目されている。アルミニウムの中間原料である(79) (80)の原料である(81) (82)は熱帯を中心に分布している。銅鉱はおもに(83) (84)帯に埋蔵されており、(85) (86)から(87) (88)にかけてのカッパーベルトも重要な産出地域である。非鉄金属の採掘や精錬は、一般に資源多国籍企業によって経営されていることが多い。

金・白金とならんで(89) (90)産業に欠かせない素材として、近年需要が急増しているのがレアメタル③である。主なレアメタルの生産の国別割合を示したのが下の図である。図中のA～Cは国名であり、それぞれAは(91) (92)、Bは(93) (94)、Cは(95) (96)である。

世界のエネルギー資源や鉱産資源の多くは発展途上国に分布しているのに対し、先進国が大量に消費している。分布と消費の偏りからさまざまな問題が発生している。石油を例にとれば国際的な石油会社である(97) (98)が、半世紀近くにわたって世界の石油の生産・販売を独占してきた。これに対して自国の天然資源に対する主権の確立や資源を経済的自立と発展に結び付けようという(99) (100)の動きが高まり、産油国は1960年に(101) (102)を結成し、1967年と1973年の(103) (104)を経て原油価格と産油量の決定権を

獲得した。1973年、1979年の2度にわたる(105) (106)は産油国に巨額の富をもたらした。1980年代以降、省エネルギー、エネルギー源の多様化が試みられているが、石油は世界のエネルギー総消費量のうち、首位を占めている。



問1 文中の空欄 (71) (72) ～ (105) (106) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号と解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (71) ～ (106) にそれぞれマークしなさい。なお、同じ語句を2回以上使っても構いません。

《語群》

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| 11 APEC | 12 アルプス＝ヒマラヤ造山 | 13 アルミナ |
| 14 液体燃料 | 15 NGO | 16 NPO |
| 17 LNG | 18 LCC | 19 OAPEC |
| 20 オーストラリア | 21 OPEC | 22 開発輸入 |
| 23 加工輸入 | 24 苛性ソーダ | 25 化石燃料 |
| 26 クロム | 27 ケニア共和国 | 28 古期造山 |
| 29 国際金融資本 | 30 国民国家ナショナリズム | 31 固体燃料 |
| 32 コンゴ民主共和国 | 33 再生可能エネルギー | 34 ザンビア |
| 35 資源カルテル | 36 資源ナショナリズム | 37 システム技術 |
| 38 新期造山 | 39 精錬技術 | 40 石油危機 |
| 41 先端技術 | 42 ソマリア | 43 中央アフリカ共和国 |
| 44 中国 | 45 中東戦争 | 46 ニクソン＝ショック |
| 47 パプアニューギニア | 48 PLO | 49 ベトナム社会主義共和国 |
| 50 ボーキサイト | 51 マレーシア | 52 南アフリカ共和国 |
| 53 民族ナショナリズム | 54 メジャー | 55 モリブデン |
| 56 モロッコ王国 | 57 ロシア | 58 湾岸戦争 |

問2 下線部①の一次エネルギーとは何か。30字以内で、解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

問3 下線部②の天然ガスは石油、石炭に比べ、クリーンなエネルギーとして注目されている。天然ガスが石油、石炭に比べ、クリーンなエネルギーとされる主な特長を二つ、解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

問4 下線部③のレアメタルとは希少金属と訳される。「希少金属」に使われる「希少」という言葉は2つの意味を持ちうる。その2つの意味を解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

〈以下余白〉